

地域福祉の充実をめざして、支える心のネットワーク!



赤い羽根共同募金

2018

9

SEPTEMBER



福祉ちば

編集・発行  社会福祉法人千葉県社会福祉協議会

No.179

特集 成年後見制度の 利用促進のための地域連携ネットワークづくり



地域の福祉活動

[松戸市] 東部地区社会福祉協議会

エールちば

大多喜町老川地区はつらつ支援ボランティア

地域にひろがる 社会福祉法人の取り組み

社会福祉法人 孝明会 (千葉市若葉区)

県社協ニュース

千葉県福祉教育研究大会報告 ほか

福祉人材関連情報 / やりがいいきがい はたらきがい

らるご桜木・介護職の巻

成年後見制度の利用促進のための地域連携ネットワークづくり

平成12年に成年後見制度が施行され、19年目になりますが、まだ必要な人の一部しか利用していない状況です。さらに財産管理のみが重視され、福祉的な視点に乏しい支援がされていたり、新しい後見人候補者の育成が進んでいないといった課題が指摘されるなか、国は平成29年3月に「成年後見制度利用促進基本計画」を策定しました。今回は、この新たな計画のポイントのひとつである「権利擁護支援の地域連携ネットワークづくり」に焦点を当て、浦安市の先進的な取り組みを紹介します。

成年後見制度の利用を促進するための「権利擁護支援の地域連携ネットワークづくり」とは、全国どの地域においても必要な人が成年後見制度を利用できるよう、各地域における相談窓口を整備するとともに、権利擁護支援が必要な人を発見し、適切に必要な支援につなげる地域連携の仕組みをつくることです。

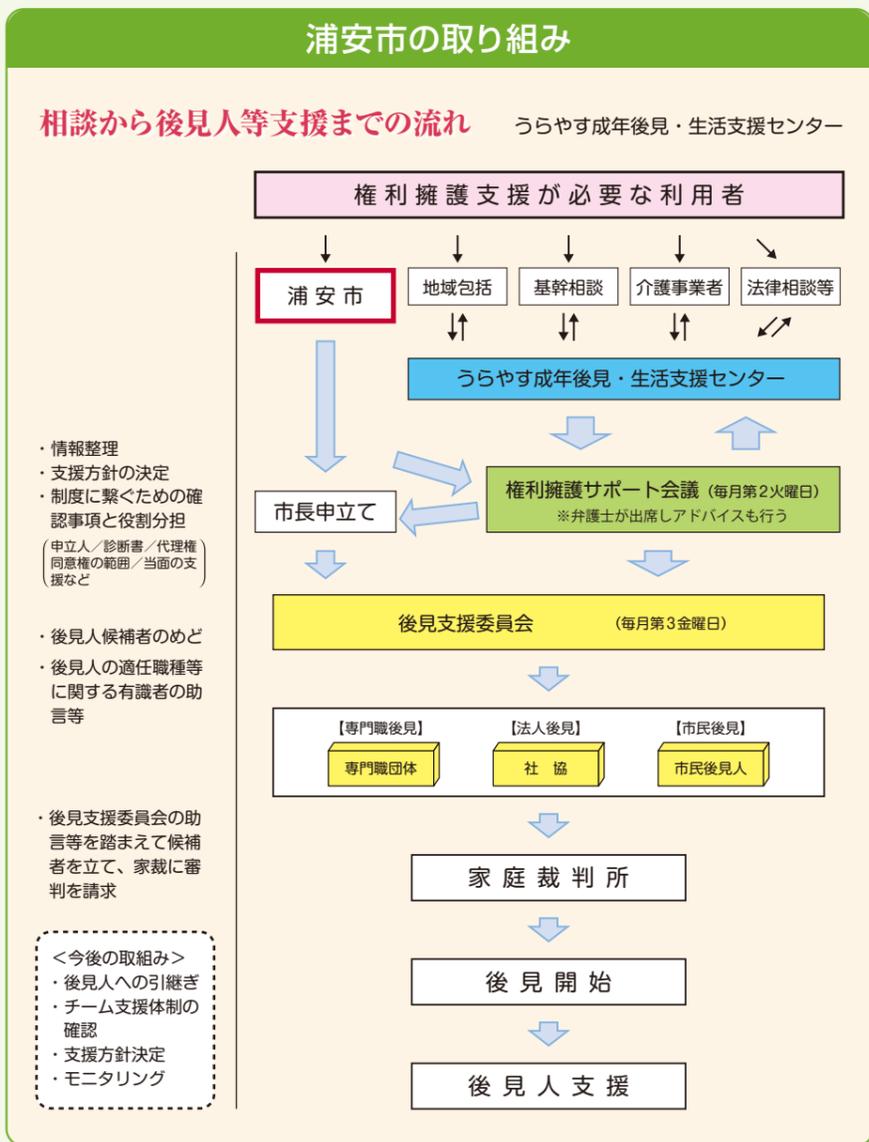
また、地域連携ネットワークの中心的な役割を担うのが「中核機関」であり、市町村の直営か、社会福祉協議会等に委託して設置することが想定されています。このネットワークと中核機関の役割として、権利擁護が必要な人の発見、周知、啓発などの広報機能や相談機能、利用促進機能、後見人の支援機能などが期待されています。

浦安市は、この地域連携ネットワークづくりを先取りする形で、10年前に「うらやす成年後見・生活支援センター」(以下、後見センター)を設置し、実質的な中核機関としての役割を担ってきました。今回はその仕組みや課題について紹介します。

後見センターが設置された経緯

後見センターが設立されたのは、平成20年の4月です。浦安市社会福祉協議会(以下、浦安市社協)の牧野剛さん(後見センター長)は、立ち上げの経緯について次のように説明します。「平成15年から、日常生活自立支援事業に取り組んできましたが、この事業では対応しきれないケースが出てきました。今後、認知症高齢者が増加することなどを考慮し、成年後見制度に対応できる部署が必要だと、私たちから市の担当課に働きかけを行った結果、市から受託する形で立ち上げました」。

後見センターの専門員は当初3名でしたが、現在は8名の専門員が配置されています。



支援方針を検討する会議を経て、委員会で受任調整

まず、浦安市の仕組みの流れを見ていきましょう。様々な相談機関で受けた権利擁護に関する相談は、必要に応じて「権利擁護サポート会議」にかけます。出席

者は弁護士と、相談対象者に関わっているケアマネジャー、地域包括支援センター、市の高齢担当課、あるいは障がい担当課等で、ケースごとに顔ぶれが異なります。

この会議の役割は、相談対象者の情報や課題の整理、支援方策(成年後見制度、



中央大学法学部教授
日本成年後見法学会理事
千葉県社会福祉協議会顧問 新井 誠氏

成年後見制度には大きな問題が2つあります。ひとつは利用が伸びていないということです。膨大な利用ニーズがあるのに、直近の最高裁の統計では21万人ぐらしか利用していません。2つ目は、利用者の約8割が後見類型であるということです。2006年12月に国連で障害者権利条約が採択され、成年後見制度はできるだけ制約のない制度にしなければならないとされました。その点からみると後見類型は一番問題があるのです。

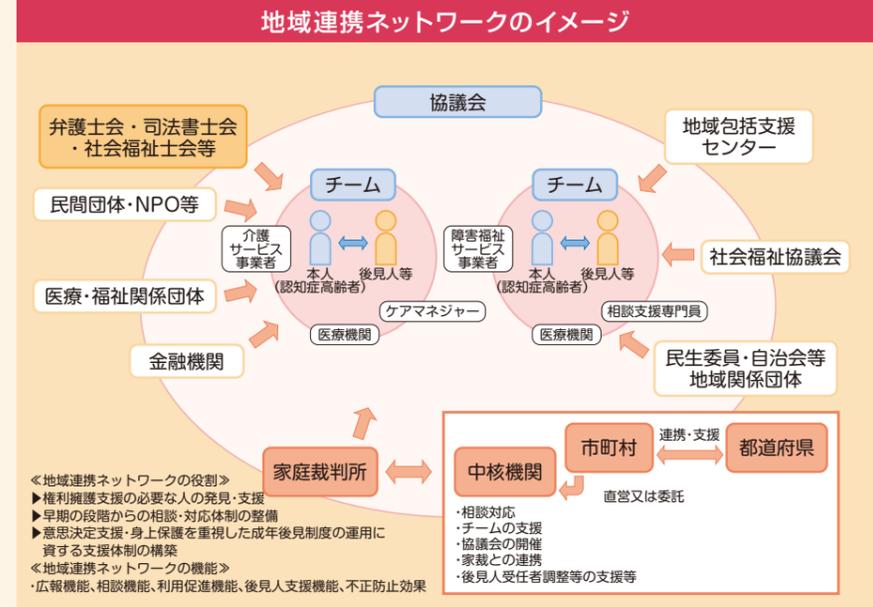
この状況を打開するため、日本成年後見法学会が2010年10月に横浜で世界会議を行い、「横浜宣言」を出しました。そこで、行政の積極的関与と成年後見の公的支援、社会全体でのサポートの必要性を強く打ち出したわけです。この宣言

日常生活自立支援事業など)の検討、債務整理や相続、虐待等に関する弁護士からのアドバイス、成年後見制度につながる場合は申立てに必要な事項の確認と今後の役割分担の確認等です。

サポート会議での協議を経て、成年後見制度の利用が必要と判断されたケースは「後見支援委員会」にかけて、後見人候補者との受任調整(マッチング)等を行います。弁護士等の専門職か、法人後見(社協)か、市民後見人か、適任者を決めます。構成メンバーは弁護士、司法書士、社会福祉士、市の社会福祉課、後見センター所長の5名です。

後見支援委員会の協議を踏まえ後見人候補者を選定し、家庭裁判所への申立てを経て後見人等が選任されると支援がスタートします。

「もともと法人後見を受任するかどうかを判断する審査会はありましたが、市民後見人の受任には専門性に裏付けられた公平な判断が必要になるため、平成28年に専門家が参加する『後見支援委員会』に切り替えました。また、その前段階での検討の場が必要ですので『権利擁護サポート会議』を設置しました」と、浦安市社協の大西美和さん(後見センター専門員)は、会議と委員会を設置した



の理念を実現しようとするのが成年後見制度利用促進法であり、具体的な計画が成年後見制度利用促進基本計画です。

基本計画のポイントは、社会全体で成年後見制度を支えるために自治体ごとに「地域連携ネットワーク」を作ることであり、一番重要なところは、そのための司令塔機能を行政がしっかり担うということです。日本には1,700の自治体がありますが、1,700が同じである必要

はありません。千葉県らしい特徴のにじみ出た地域連携ネットワークをぜひ作っていただきたい。

現在、千葉県社会福祉協議会では成年後見制度の利用を促進するためのマニュアル作成に取り組んでおり、私はその委員長をしています。このマニュアルを参考に、千葉県内の全ての地域で地域連携ネットワークが構築されることを期待しています。

経緯について説明します。

また、浦安市では平成28年に設置した「浦安市高齢者・障がい者権利擁護協議会」を、地域連携ネットワークの「協議会」に位置付けました。メンバーは、医師会、弁護士会、介護事業者協議会、障害者就労支援センターなど医療、法律、福祉の専門職のほか、警察署、消防署、大学教員など、多彩な顔ぶれで構成されています。

課題は広報機能と後見人支援機能

後見センターでは「市民後見人養成事業」を平成26年から実施。養成講座と実務研修(法人後見支援員)、フォローアップ研修を修了した第一期生は16名で、2名が市民後見人を受任(社協との複数後見)しました。

地域連携ネットワークの構築に向けた課題のひとつは、制度が必要な人の早期発見には地域の協力が欠かせないため、啓発活動を展開すること。そのために市民後見人の養成講座の修了生が「うらや



うらやす成年後見・生活支援センター専門員(リーダー) 大西 美和さん



うらやす成年後見・生活支援センター専門員(リーダー) 牧野 剛さん

す成年後見サポーターズ」を結成し、サロンや老人会に出向き、紙芝居などを活用してPR活動を展開しています。

もうひとつの課題は、後見人選任後の継続的支援が不十分なことだと言います。専門職後見人や親族後見人が後見センターとつながることで、もっと本人の意思を尊重した柔軟な支援ができ、不正防止にもつながるため、そのための方策を検討しています。

浦安市の後見センターの先進的な取り組みを参考に、どの地域でも必要な人が制度を利用できるように、それぞれの市町村で地域連携ネットワークづくりを推進していきましょう。



高齢者等の暮らしを支える家事支援活動 顔の見える関係のなかで助け合う安心感

県の北西部に位置する松戸市は都心へのアクセスが良く、大規模マンションの建設なども進んでいるため、人口が増加しています。市内15の地区に地区社会福祉協議会(以下、地区社協)が設立され、東部地区社協も子育て世代が増加している活気のある地域です。その一方で高齢者も増加しており、子育て支援活動とともに高齢者支援活動にも尽力しています。今回は、高齢者等の困りごとを支えあう家事支援活動を中心に、東部地区社協の福祉活動をご紹介します。

利用者と協力員をつなぐ コーディネーターを配置

東部地区社協は、人口が4万7,000人を超える規模の大きな地区社協で、15の町会・自治会で構成されています。広報部、子育て支援部、家事支援部、企画部、会食部、健康増進部など6部会に分かれ、きめ細かい活動を展開しています。

家事支援部が担う家事支援活動は、平成18年にスタートし、今年で13年目を

迎えました。利用者のほとんどが高齢者ですが、障がい者、病弱な方など支援が必要なケースにも対応しています。支援内容は掃除、洗濯、外出の付き添い、買い物、話し相手などで、利用料金は30分350円。1回2時間までです。

家事支援部の協力員は31名。東部地区を6つのエリアに分けて活動しており、エリアごとにコーディネーターを配置しました。

コーディネーターは、困りごとを抱える利用者と相談して活動内容を決め、条件に合う協力員を探して依頼し、初回は協力員に同行して利用者宅を訪問します。

協力員が活動のなかで困ったことがあれば、コーディネーターに相談するなど、利用者と協力員の間に立って調整する重要な役割を担っており、地域の高齢者の事情に詳しい人が務めています。広い人脈を活かし、ボランティア活動に理解がある住民を探して声をかけ、協力員確保にも努めています。



東部地区社協 家事支援部会のみなさん。前列左から2人が笹山部会長

家事をこなすだけでなく 会話を通して孤立を防ぐ

今回、家事支援の場面を取材させていただきました。利用者は、高齢化が進む団地で暮らす病弱な80代の女性で、定期的に部屋の掃除を依頼しています。1年間はいつもの協力員が担当するので、なじみの関係を築いていました。

家事支援活動では「作業基準」が定められており、トイレや風呂場の掃除は行わないことになっていますが「それほどの手間ではないので」と、協力員はトイレも風呂場も掃除していました。行政サービスや民間の業者とは違って、柔軟な

対応ができるのが、地区社協活動の強みです。

「コーディネーターさんも協力員さんも、この団地の住民で以前からの顔見知りなので、安心です」と利用者の女性。

家事支援部会長の笹山美智子さんは「利用者さんの多くはふだん人と話す機会が少ないので、私たちはただ家事をこなすだけでなく、話し相手になって孤立を防ぐことも重要な役割と考えています」と話しています。利用者に寄り添いながら、支援する。小地域の支え合い活動ならではの、心の通う温かさを感じました。

力仕事や大工仕事を担う 男性グループを立ち上げ

7名の男性協力員が昨年、力仕事や大工仕事を請け負う男性グループを立ち上げました。「男性グループのなかには大工さんや電気屋さんだった方がいるので、利用者のニーズに幅広く対応できます。高齢者世帯が増え、力仕事の依頼も増えていくと思いますので忙しくなりそうです」と男性グループのコーディネーター、



包丁研ぎ



グラウンドゴルフ大会

中田龍夫さんは意気込みを語ってくれました。(男性グループは東部地区全域を担当しています)

また、包丁研ぎを得意とする男性の協力員数名が、町会・自治会を巡回して高齢者の包丁を研ぐ活動が好評で、毎回、依頼が殺到しているそうです。昨年は6カ所で約180本の包丁を研ぎました。

家事支援部は2カ月に1回程度、運営委員会を開催して、個別のケースや活動の課題について話し合い、みんなで改善策を考えています。この運営委員会を重ねることで、協力員が無理なく活動できる仕組みができました。

笹山部会長は今後について「地域のなかに認知症高齢者が増加しています。できる限り対応していきたいので、認知症について勉強しているところです」と話してくれました。

高齢者支援とともに 子育て支援も充実

家事支援活動のほか、東部地区社協の主な活動として、会食部の「ふれあい会食会」が挙げられます。高齢者に手作りの食事を提供することで、閉じこもりを防ぎ、地域とつながることを目的としています。東部市民センターで開催する



五中生とのふれあい会食会

「ふれあい会食会」とは別に、足腰の弱い方に配慮し、町会・自治会の集会所を巡る「移動ふれあい会食会」も毎月、開催しています。

その一方で子育て支援活動も充実しており、地区内6カ所で毎月「子育てサロン」を開催。また、地区全体の親子が一堂に会する「ちびっこフェスティバル」のような大掛かりなイベントも毎年、開催しています。

東部地区社協では高齢者支援活動も子育て支援活動も活発に展開しており、ひとり暮らしのお年寄りも、子育て世帯も安心して暮らせるまちづくりが進んでいます。



東松戸まつり

松戸市社会福祉協議会 TEL 047-368-0503

ボランティアの力を活かした 3つの事業を重層的に展開

公的なサービスでは解決できない困りごとを、地域のボランティア・関係団体が協力して解決する仕組みに期待が寄せられています。そこで松戸市社会福祉協議会(以下、松戸市社協)が取り組んでいる3つの事業についてご紹介します。

①「ふれあいサービス事業」は、高齢者やその家族、心身になんらかの障がいを抱える人の負担を少しでも軽減するため、有償で提供する在宅福祉サービスです。「協力会員基礎研修」を受講した地域ボランティアが「協力会員」として利用者宅を訪問し、調理や洗濯などの家事支援を行うほか、食事介助や外出介助、見守りなどの介護援助も行っています。

②「訪問型生活支援・困りごとサービ

ス事業」は、介護保険に基づいた松戸市介護予防・日常生活支援総合事業に基づくサービスです。市が指定した研修と松戸市社協の実務研修を受けた「サービス実施者」(主に高齢者)が、要支援者等のお宅に伺い、掃除、買い物など介護保険制度内の生活支援サービスを提供します。また本人の居室以外の部屋の掃除や草むしりなど、介護保険制度外のサービスは「困りごとサービス」として提供しています。

③「困りごと解決ワンコインボランティア事業」は、行政サービスや松戸市社協のサービスなど既存のサービスでは対応できないケースについて、部署を超えてみんなで解決策を考える事業で、今年5月にスタートしました。プロジェク



松戸市社協のみなさん

トチームがアセスメントを実施し、関係者と共にボランティアセンターに登録しているボランティアが一人1回500円で支援活動を行います。このサービスは支援後のフォロー体制の調整も行います。

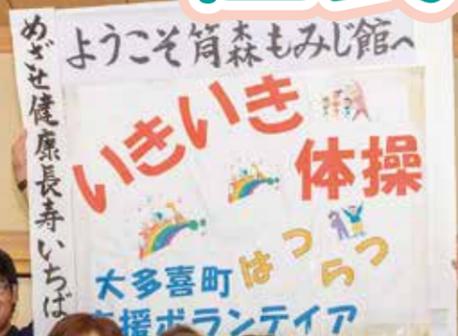
これらの3つのサービスを重層的に展開することで、市民のみなさんのあらゆる困りごとの解決を目指しています。

※松戸市人口：494,733人 65歳以上人口：124,826人 高齢化率：25.23%(平成30年3月末日現在)



家事支援

地域づくりの視点も取り入れた 住民主体の介護予防活動



おいかわ 大多喜町老川地区はつらつ支援ボランティア



高齢化が進む大多喜町では、介護予防活動を主体的に行う「はつらつ支援ボランティア」を養成し、地区ごとにグループを編成しました。町や専門職がボランティアを後方支援しながら、単に健康づくりだけでなく、地域づくりの視点も取り入れながら活動を展開しています。

介護予防活動を担う ボランティアを養成

大多喜町は高齢化が急速に進み、現在の高齢化率は40%を超えています。健康寿命を延ばすため、介護予防を地域全体に推進していくことが急務となっています。



季節の行事（七夕）

ました。

そこで、町は平成24年度から介護予防活動を行う「はつらつ支援ボランティア」の養成講座を開催することになり、町の広報誌への掲載などを通して受講者を募集しました。講座の内容は高齢者の心身の機能や認知症予防などについての講義と、運動の実技で4日間に渡ります。毎年開催しており、現在58名のはつらつ支援ボランティアが活動しています。

また大多喜町が平成26年度から、県の「地域づくりによる介護予防推進支援モデル事業」に参加したことで、単に介護予防の普及だけでなく、地域づくりの視点を重視した活動へと広がっていきま

平成27年度からは、ボランティアが居住する地区ごとに5つのグループ（老川・大多喜・総元・西畑・上瀬）に分け、自分たちでリーダーを決め、年間計画を立てて、主体的に活動しています。今回はもっとも高齢化の高い老川地区の介護予防教室を取材しました。

地区の住民同士ならではの アットホームな雰囲気

老川地区では2カ所の集会所で、それぞれ週1回ずつ介護予防活動を実施しています。

取材日はあいにくの天気でしたが、集会所には70～80代の参加者10名がいつもどおり集まってきました。「すぐ近所だから、大雨でも来ることができるの



ボランティアリーダー
高橋 富恵さん



大多喜町役場・健康福祉課
保健予防係係長
吉田 香里さん

よ」と口ぐちにおっしゃいます。おそろいのシャツに身を包んだ7名のボランティアが笑顔で「こんにちは」と迎えます。アットホームでリラックスした雰囲気がありました。

まずボランティアも含めて全員が輪になって椅子に座り、「おたき元気いきいき体操」を行います。この体操は、各自の体力に合わせた重りを手首や足首に巻きつけて、ゆっくりと身体を動かす運動で、高知市で始まった「いきいき百歳体操」が元になっています。「われは海の子」などの唱歌を歌いながら体操していましたが、脳の活性化のために2つ以上の動作を同時に行うとのことでした。

世代間交流も実施し 住民同士の絆を深める

体操の合間には、自然と会話が生まれます。もともと顔見知りの住民同士なので話が盛り上がり、何度も楽しそうな笑い声が起こっていました。「家では声を出して笑うことがなく、ここに来たときだけ大声で笑える」と参加者の一人は話します。

1時間かけてじっくり「おたき元気いきいき体操」を行った後、第二部では脳トレを兼ねたレクリエーションを行いました。体操のやり方は町内5カ所で統

「ちばSSKプロジェクト」の千葉県知事賞を受賞!



千葉県では平成23年度から高齢者孤立防止活動「ちばSSKプロジェクト」をスタートしました。SSKは「しない」「させない」「孤立化!」のアルファベットの頭文字を記号化したものです。高齢者の孤立を防ぐための支え合い活動を実践している活動団体を表彰しており、「老川地区はつらつ支援ボランティア」は、先進的で他の模範となる団体として高く評価され、平成29年度の「千葉県知事賞」を受賞しました。

一されていますが、レクリエーションはグループごとにアイデアを出し合って実施しています。

老川地区のはつらつ支援ボランティアは地域づくりの一環として、保育園児と参加者の世代間交流も開催しています。さらに「交通の便が悪くて遠出ができない」という参加者の声を聞き、バスハイクなども行っています。このような取り組みを通して、さらに地区の住民同士の絆が深まっています。

行政や専門職が 活動を後方支援する

住民主体で進めている活動ですが、定期的に理学療法士と健康運動指導士が訪れ、体操のやり方についてアドバイスをしたり、ボランティアや参加者の質問に答えたりします。

また年に2回、役場が体力測定を実施。理学療法士、健康運動指導士のほか、保健師も関わって、握力や片足立ちなど6項目に渡って測ります。参加者の平均値も出していますが、柔軟性、バランス力、下肢の筋力のどれをとっても向上しているそうです。

「椅子から一人で立ち上がれなかった人が立ち上がれるようになったり、つまり回数が減ったりという効果はありましたが、実際に体力測定の効果が数値で示されると、参加者のモチベーションが高くなりますし、私たちも励みになります」と、ボランティアリーダーの高橋富恵さんは言います。

また、ボランティアのフォローアップ

のために研修会を年4回実施して、新しい知識や技術を学びます。さらに5つのグループのボランティアが一堂に会して情報交換などを行う定例会も年4回行っています。

大多喜町役場・健康福祉課の吉田香里さんは、町としての役割について次のように述べています。「ボランティアさんが積極的に取り組んでくださることに感謝していますが、任せきりにするのではなく、やりがいをもち活動が続けられるように、町や専門職がしっかりと後方支援を行っていくことが大切だと思います」

今後の課題として吉田さんは、はつらつ支援ボランティアの活動を町内にくまなく広めていくことや、この活動を次世代まで続けていくために若い世代にアプローチすることなどを挙げています。

大多喜町のはつらつ支援ボランティアの活動は、町とボランティアの協働によって、単に介護予防だけでなく、地区の住民同士のつながりを構築し、地区への愛着を強め、地域づくりへとつながっています。



鴨川シーワールド



参加者の 感想

宮原 千代さん

4年前に脳梗塞を患って半身麻痺になり「これからどうしよう」と、どん底の精神状態でしたが、ボランティアさんに誘われて参加するようになり、体操や脳トレに取り組むうちに、気持ちが前向きになり、麻痺していた左手も動くようになりました。感謝しています。



参加者の 感想

正木 愛子さん

3年半前から、休まずに通い続けています。ボランティアさんの教え方が丁寧でわかりやすく、大勢の人とおしゃべりできるのが楽しみ。参加者同士も仲良くなって「長く続けましょうね」と励まされています。82歳ですがおかげさまで、健康を維持しています。



ボランティア の感想

佐久間 和夫さん

「地域のために何かしたい」と、さまざまなボランティアに挑戦しています。はつらつ支援ボランティアは参加者に喜んでもらえるだけでなく、自分自身の筋力アップにもつながっています。男性のボランティア、参加者が少ないので、もっとPRしていきたいです。

地域にひろがる 社会福祉法人の取り組み



社会福祉法人 孝明会 (千葉市若葉区)

- 主な事業**
- 特別養護老人ホーム
 - 短期入所生活介護
 - 通所介護
 - 居宅介護支援
 - 地域包括支援センター

法人本部 / 千葉市若葉区野呂町736-1 特別養護老人ホーム昌晴園
お問い合わせ TEL 043-228-1711
HP <http://shouseien.bz-service.net/>

●近隣の子どもたちと活発に交流

社会福祉法人孝明会は、昭和63年に特別養護老人ホーム昌晴園を開設して以来、30年間に渡って高齢者福祉事業を展開していますが、当初から「地域とともに」を合言葉に地域交流活動に尽力しています。

毎年恒例の「納涼祭」には大勢の地域住民が集い、職員とともに踊ったり、飲食しながら交流を深めてきました。また、近隣の保育所や小・中学校の子どもたちがしばしば来園して、お年寄りとの世代間交流活動に取り組んでいます。

●自治会、民生委員、市社協と連携

昌晴園は昨年12月、野呂自治会、民生委員、千葉市社会福祉協議会と連携して、地域住民のために、買い物支援サービスを立ち上げました。毎週木曜日、デイサービスの送迎の空き時間（13時～15時）に、昌晴園の運転手が送迎車を使って、自宅からスーパーまで無料で送り迎えをするサー



大荷物になっても安心の「買い物支援サービス」

ビスです。

野呂町は田園風景が広がるのどかな地域ですが、近年過疎化が進み、小売店が撤退したりするなかで、移動手段がなく、日常の買い物に困難を抱える高齢者が増加しています。

そんななか、平成27年に若葉区の別の地域で実施された「買い物支援サービスモデル事業」に昌晴園が参加した際、理事長の石井俊彦さんが「野呂町にも必要だ」と考え、さっそく千葉市社協に相談したと言います。

しかし、実際にサービスを実践するには地域の協力が必要です。また車両に同乗して高齢者をサポートする「協力員」も確保しなければなりません。千葉市社協がコーディネート役とな



理事長の石井俊彦さんと副園長の山岸彰さん

り、昌晴園と地域住民とが集まって何度も話し合いを重ねました。

その結果、運営の詳細が決定。利用者の募集は自治会が行い、申し込みの受付や利用可否の決定は民生委員が担当します。車両に同乗する協力員は、野呂自治会の見守り隊の8人が交替で担うことになりました。見守り隊とは、一人暮らしの高齢者を訪問して安否確認するボランティアです。

●閉じこもり防止や仲間づくりの効果も

最初、利用者は4人でしたが、徐々に増えて現在は8人。そのほとんどが一人暮らしの高齢女性です。利用者の方にお話を伺うと、「自宅からバス停まで歩いて20分以上かかるので、本当に助かります」「宅配サービスを利用していましたが、実際に野菜や肉を見て選ぶことがうれしい」「たくさん買って、荷物が重くなくても自宅まで送ってくださるので安心です」と、全員が感謝の言葉を口にされました。

また、当初の目的は単に買い物の支援でしたが、一人暮らしの高齢者の安否確認や閉じこもりの防止につながったり、利用者同士の交流の機会になるなど、さまざまな効果が得られています。「車中のおしゃべりが楽しみ」という方も多そうです。

社会福祉法人の地域貢献について、副園長の山岸彰さんは次のように話してくれました。「地域の高齢化が急速に進むなか、高齢者福祉施設を運営する社会福祉法人としてやるべきことはたくさんあると思います。地域のニーズをきちんと捉えて、これからも応えていきたいと考えています。」



昌晴園外観

県社協ニュース

平成30年7月豪雨に対する被災地支援状況について



6月28日から7月8日にかけて、西日本を中心に広い範囲で記録的な大雨となり甚大な被害をもたらしました。千葉県社会福祉協議会では県内の市町村社会福祉協議会職員と協力して被災地支援を行っております。支援状況は、被災者向けの特別貸付を7月26日～8月10日まで実施しました。岡山県、広島県、愛媛県の特に被害の甚大であった3県の貸付は、8月30日時点で179件/2,370万円となっています。また、関東ブロックから災害ボランティアセンターへの支援として、7月26日から順次職員を派遣し、ボランティアの受付や関係者との連絡調整を行っています。

第44回(平成30年度)県民福祉セミナー

元NHKアナウンサー 内多勝康氏を講師に招き、福祉の現場に転職した経緯や、国立成育医療研究センター「もみじの家」でのハウスマネージャーとしての実践とおして、これからの子どもの医療的ケアを社会がどう支えていくか、現状と課題を踏まえて、今後のあるべき姿について考えていきます。※本セミナーは、第68回千葉県社会福祉大会終了後に引き続き、同会場で開催するものです。千葉県社会福祉大会の進行状況により、開場時間に変更になる場合がありますので予めご了承ください。

- 日時：平成30年11月9日(金) 14:15～15:45 13:30受付開始 14:00開場
- 場所：千葉県文化会館(千葉市中央区市場町11-2)大ホール
ホールには駐車場がありません。公共交通機関をご利用ください。
- 対象・定員：定員500名(先着順) 定員を超え、参加できない場合はホームページにてお知らせいたします。
- 内容：講演：なぜ私は「もみじの家」のハウスマネージャーになったのか～NHKアナから医療的ケア児の現場へ～
講師：内多勝康氏(国立成育医療研究センターもみじの家ハウスマネージャー 元NHKアナウンサー)



内多勝康氏

お申し込みフォームはこちらのQRコードから



- 参加費：無料
- 参加方法：所定の参加申込書にて、10月26日(金)までにFAXまたはホームページの参加申込フォームからお申し込みください。
- 申込・問合せ：千葉県社会福祉協議会 地域福祉推進部 担当：飯塚・窪田
TEL043-245-1102 FAX043-244-5201
URL：<http://www.chibakenshakyo.com>

社会福祉施設 経営相談専門家相談カレンダー(平成30年度)

月	会計等(税理士・公認会計士)	労務等(社会保険労務士)	法律(弁護士)
10月	1日(月)・15日(月)	3日(水)・17日(水)	10日(水)・24日(水)
11月	5日(月)・19日(月)	7日(水)・21日(水)	14日(水)・28日(水)
12月	3日(月)・17日(月)	5日(水)・19日(水)	12日(水)・26日(水)

◎要予約。一般相談・予約は☎043-245-4450 社会福祉施設経営相談室まで
◎詳細はお問い合わせください。 **秘密厳守・相談無料**

千葉県福祉教育研究大会に259人

8月22日、淑徳大学を会場に「平成30年度千葉県福祉教育研究大会」を開催し、学校関係者、市町村社協・地区社協関係者など259名が参加しました。

午前中は高知県土佐町社会福祉協議会の山首尚子事務局長が「子どもたちによる町おこしと福祉教育」と題して講演。「人口4千人弱、高齢化率44%の土佐町では若者の流出が死活問題。若者を町に戻すには子どもの頃から自分たちの力でまちづくりをする経験を積ませることが重要」という考えから、町社協から中学校へアプローチして多世代が暮らすまちづくりの視点から福祉教育の授業を行っているとのお話がありました。また中学生の時に土佐町社協の授業を受けていた川村茂士郎さん(高知大学1年)は自身が感じた福祉教育の効果をお話してくれました。

続いて千葉県福祉教育推進連絡会議の松山議長(順天堂大学准教授)が進行役となつて、山首事務局長、川村さんと千葉県福祉教育推進連絡会議委員によるトークセッションが行われました。

午後には3つの分科会に分かれ、福祉教育推進校・推進団体として指定を受けた小・中・高校及び地区社協が3年間の取り組みに関する実践発表を行い、学校と地域が連携して福祉教育を進める取り組みについて熱心に研究協議が行われました。

【お問い合わせ先：ボランティア・市民活動センター Tel 043-204-6010】

平成30年度第2回 保育de就職!@千葉 保育のしごと就職フェスタ

求人のある保育所(園)・児童福祉施設等の採用担当者との個別面談や保育職場に関する相談等を行い、保育職場での就労をサポートします。

- 日時：平成30年10月28日(日) 12:30～16:00
(※特別講座は10:00～12:00)
- 場所：聖徳大学・聖徳大学短期大学部3号館8階(松戸市岩瀬550)
- 対象・定員：保育所(園)・児童福祉施設等への就職希望者、保育・児童福祉の仕事に関心のある方
- 主催：千葉県社会福祉協議会 千葉県福祉人材センター
ちば保育士・保育所支援センター
- 内容：○各児童福祉施設等の求人内容、職場の説明などを行います。
○福祉人材センターにて就職登録の受付、福祉資格等についての相談、情報提供などを行います。
○同時開催：保育のしごと 特別講座
「発達に気になる子どもへの対応」(10:00～12:00)
- 参加費：無料
- 参加方法：事前申込不要・履歴書不要・入退場自由・服装自由(特別講座のみ、事前に申込が必要)
- 問合せ先：千葉県社会福祉協議会 千葉県福祉人材センター内
ちば保育士・保育所支援センター
(千葉市中央区富士見2-3-1 塚本大千葉ビル3階)
TEL043-222-2668 FAX043-222-0774
ホームページ：<http://www.chibahoiku.net>

平成30年度第2回 福祉のしごと就職フェア・inちば<<就職面談会>>

福祉の仕事に興味がある方と社会福祉施設等の採用担当者の方との個別面談の場です。就職活動中の方、福祉施設がどんな場所か知りたい方など、是非お気軽にご参加ください。

- 日時：平成30年11月17日(土) 13:00～16:00
- 場所：幕張メッセ 国際会議場コンベンションホール(千葉市美浜区中瀬2-1)
- 対象・定員：社会福祉施設(事業者)等への就職希望者
- 主催：千葉県社会福祉協議会 千葉県福祉人材センター
- 内容：○社会福祉施設等との面談：各社会福祉施設等の採用担当者との対面方式により求人内容や職場説明などを行います。
○相談コーナー：福祉や雇用に関する専門職員が仕事についてのさまざまな相談に応じます。
○同時開催：福祉のしごと就職セミナー(10:00～12:00)
- 参加費：無料
- 参加方法：事前申込不要・履歴書不要・入退場自由・服装自由
- 問合せ先：千葉県社会福祉協議会 千葉県福祉人材センター
(千葉市中央区富士見2-3-1 塚本大千葉ビル6階)
TEL043-222-1294 FAX043-222-0774

ご相談ください
福祉サービスに関する
苦情解決相談

千葉県運営適正化委員会 電話043-246-0294
メール support@chibakenshakyo.com FAX 043-246-0298
【受付時間】平日9時～12時、13時～17時(土日祝日・年末年始を除きます)
※来所面談は予約制です。事前にご連絡ください。メール、FAXも可。

赤い羽根共同募金



平成30年度 赤い羽根共同募金

平成30年10月1日～平成31年3月31日まで

千葉県共同募金会からのお知らせ

赤い羽根共同募金は「じぶんの町を良くするしくみ。」です

共同募金運動は今年度も10月1日から来年3月31日まで全国的に展開されます。
昭和22(1947)年にスタートしたこの運動は、市民が主体となって地域を良くするしくみとして、発展してきました。長年にわたりご協力いただいた寄付者の皆様、ボランティアの皆様によりお礼申し上げます。

みなさまからお寄せいただいた募金は民間の福祉施設・福祉団体、NPOやボランティア団体への支援の他、西日本豪雨災害・北海道地震等の大規模災害等支援にも役立たせていただきます。これからも地域福祉の発展のため、共同募金へご協力くださいますようお願いいたします。



平成29年度 募金で実施しました



盲導犬訓練センター見学(東庄町)



障がい者就労支援施設でパイシートの購入(木更津市)

私たちが、に助けられました。

赤い羽根共同募金

平成30年度 赤い羽根共同募金ポスター

<NEW>ホームページをリニューアルしました!!

千葉県共同募金会では、赤い羽根共同募金に寄せられた寄付金を、毎年、県内の2,600件以上の地域福祉活動や草の根のボランティア活動等に助成しています。このたび、県内の共同募金活動の様子や地域でのつかいみなど、寄付者の皆さま、ボランティアの皆さまにより手軽にわかりやすく知っていただけるようホームページをリニューアルいたしました。

皆様のお住まいの地域では、どのように赤い羽根募金運動が行われ、お寄せいただいた募金がどう活かされているのか、是非ご覧ください。

ホームページはページ下部のURLまたはQRコードにてご覧いただけます。



皆さまに支えられて、70年の歴史ある運動へ

共同募金運動は、第二次世界大戦後、昭和22(1947)年に「国民たすけあい運動」として始まりました。戦後復興として第一回の共同募金運動では、およそ6億円(現在の価値で約1,200億円)の浄財が寄せられ、現在では、時代の移り変わりに合わせたさまざまな地域の課題解決のための「じぶんの町を良くするしくみ。」として取り組んでいます。長年、運動に携わってきたボランティアの皆さま、寄付者の皆さまに、心より感謝申し上げます。



社会福祉法人 千葉県共同募金会

〒260-0026 千葉県千葉市中央区千葉港4-3 県社会福祉センター2F
TEL:043-245-1721 FAX:043-242-3338
http://www.akaihane-chiba.jp/



地域の情報ひろば

第6回「かもがわ」福祉でまちづくりフェスティバル

- 赤ちゃんからお年寄りまで、一緒に楽しい時間を過ごしましょう。
- 日時: 平成30年10月13日(土) 10:30~15:10
 - 場所: 鴨川市文化体育館
 - 対象・定員: どなたでも参加できます
 - 主催: 第6回「かもがわ」福祉でまちづくりフェスティバル実行委員会
 - 内容:
 - はいはい・よちよちレース
 - 鴨川少年少女合唱団による合唱
 - 福祉施設交流カラオケ大会
 - 子ども服リユースコーナー
 - 飲食コーナー
 - ブース出店
 - 大抽選会 等
 - 参加費: 無料
 - 参加方法: 直接ご来場ください(申し込み不要)
 - 問合せ先: 鴨川市社会福祉協議会 ☎04-7093-0606

第8回酒々井町ふくしチャリティーパークゴルフ交流大会

- パークゴルフは初めてという方や体の不自由な方なども気軽に参加できる大会です。たくさんの方のご参加をお待ちしています。
- 日時: 平成30年10月20日(土) 8:30開会式 9:00競技開始
 - 場所: しずいの森パークゴルフ場(印旛郡酒々井町墨1200番地)
 - 対象・定員: 一般参加...18歳以上で本大会の趣旨にご賛同いただける方
フレンドリー参加...初心者、高齢者、体の不自由な方など36ホールをプレーするのが困難な方
 - 主催: 酒々井町ふくしチャリティーパークゴルフ交流大会実行委員会
 - 内容: 一般参加...36ホールストロークプレー(男女別個人戦)
フレンドリー参加...9ホールまたは特設コースを体験的にラウンド
 - 参加費: 一般参加: 2,000円 フレンドリー参加: 1,500円
大会の収益金は、酒々井町の地域福祉事業に活用されます。
 - 参加方法: 所定の参加申込書に必要事項を記入し、10月12日(金)までに酒々井町社会福祉協議会またはしずいの森パークゴルフ場へ申し込みください。
 - 問合せ先: 大会事務局(酒々井町社会福祉協議会)担当: 久保 印旛郡酒々井町中央台4-1-1
TEL:043-496-6635 FAX:043-496-5245

高齢者と障害者の自立のための 第45回 国際福祉機器展 H.C.R.2018

45th Int'l Home Care & Rehabilitation Exhibition 2018



- 会期: 2018年10月10日(水)~12日(金)
- 開催時間: 10:00~17:30(12日のみ16:00まで)
- 会場: 東京ビッグサイト 東展示ホール(東京・江東区有明)
- 入場料: 無料・登録制(一部のプログラムは有料)
- 展示: 14か国・1地域の560社から約20,000点の福祉機器が一堂に!

- 併催イベント予定
 - ▶国際シンポジウム
テーマ: 仕事と育児・介護の両立支援~その現状と対策~
内容: 介護や育児のために仕事を辞める離職問題等について、仕事と育児・介護の両立支援のために先駆的施策を展開しているスウェーデンから講師を招きその現状に学びつつ、日本の今後の両立支援のあり方について考察します。
【日時】2018年10月11日(木) PM
【会場】東京ビッグサイト 東展示ホール
 - ▶H.C.R.セミナー ~さまざまな参加者を対象に、役立つ最新情報を提供
 - ▶H.C.R.特別企画 ~最新機器、子どもむけ製品などを集中展示
注目 パラスポーツコーナー ~デモや体験でもっと身近に!
 - ▶出展社主催プレゼンテーション ~各社製品の特徴の紹介・PRなど
- ※プログラムは変更されることがあります。最新情報と詳細はH.C.R.Webサイト(<https://www.hcr.or.jp>)でご確認ください。
- WEBサイト▶ <https://www.hcr.or.jp>
- H.C.R.2018事務局 〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル 一般社団法人 保健福祉広報協会 Tel. 03-3580-3052/Fax. 03-5512-9798

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

平成30年度 全国200万人加入!!

保険金額		年間保険料(1名あたり)	
保険金の種類	プラン	Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	1,400万円
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)	1,400万円(限度額)
	入院保険金日額	6,500円	10,000円
	手術保険金	入院中の手術 65,000円 外来の手術 32,500円	100,000円 50,000円
	通院保険金日額	4,000円	6,000円
	特定感染症の補償 葬祭費用保険金(特定感染症)	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ 300万円(限度額)	
賠償責任	賠償責任保険金(対人・対物共通)	5億円(限度額)	

年間保険料(1名あたり)		タイプ	
プラン	Aプラン	Bプラン	
基本タイプ	350円	510円	
天災タイプ(※)	500円	710円	(基本タイプ+地震・噴火・津波)

保険金をお支払いする主な例



- ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)
- 送迎サービス補償 (傷害保険)
- 福祉サービス総合補償 (傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 ▶ 社会福祉法人 全国社会福祉協議会
 (引受幹事) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 TEL:03(3349)5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 ▶ 株式会社 福祉保険サービス
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
 営業時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)
 この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。



介護職はシニア世代の人生経験が活かせる仕事



株式会社四葉
サービス付き高齢者向け住宅 らるご桜木
勤務歴：4か月

介護職員

百塚ひろ子さん

●もともと介護の有資格者で、高齢者福祉施設に勤務されていたそうですね

はい。若いころは介護用品を販売する仕事に就いていましたが、介護保険がスタートした頃に、介護の現場で働いてみたくなり、平成13年にホームヘルパー2級の資格（現在の介護職員初任者研修に相当）を取得し、グループホームに就職しました。もともと人のお世話をするのが好きな性格で、楽しく仕事をしていましたが、父や兄、姉などの介護を次々と担うことになり、やむなく退職しました。最近になって、ようやく家族介護が一段落し「また介護の現場に戻りたい」という思いを抱くようになったのです。

●この施設に入職した経緯について教えてください

介護職を希望するシニア世代のために「千葉県福祉人材センター」が実施している「期待しています!シニア人材事業」を今年の春に知って事務所を訪ねたところ、私の要望に沿った職場をいくつか紹介してくださいました。自宅からの交通の便が良く、仕事内容や勤務時間などについて私の希望どおりの施設に就職することができ、とても満足しています。現在は入居者のみなさんの食事や排泄の介助など、生活全般のお手伝いをしています。認知症の方の介護も、大切な役割のひとつです。

●再就職をするにあたって不安はありましたか

はい。私は今、70歳ですので健康面、体力面の不安はありましたが、いざ現場に入ってみると、移乗介助なども以前と同じようにできました。またフルタイムの勤務ではなく、週に3~4日、15時から19時までの4時間勤務のパート社員ですので、体力的にも無理なく仕事をしています。これからも健康面に気をつけながら長く勤めたいと思っています。

●どのような場面で介護のやりがいを感じますか?

ふだん言葉を発することがほとんどない入居者の方がいらっしゃるのですが、その方が就寝する前に、私が歯磨きや着替えの介助を行い「ゆっくり休んでくださいね」と言葉をかけたときに「ありがとう」とおっしゃったのです。とてもうれしい気持ちになり「介護の仕事

してよかった」と心から思いました。「ありがとう」と感謝されることが、介護の仕事の魅力だと思います。

●介護の現場において、シニア世代ならではの強みを感じることはありますか

人生経験が長く、入居者のみなさんと年齢に近いことから、聞き上手な方が多く、共通の話題がたくさんあり、会話が盛り上がりやすい。シニア世代の強みはコミュニケーション能力ではないでしょうか。また、家族を介護した経験も強みになると思います。私は認知症の姉を長く介護した経験がありますので、その経験を活かしながら、認知症の方の介護にあたっています。

●20代、30代の若い職員がいっしょに働くことについて、どう感じていますか

当施設では20代から70代まで、幅広い世代の介護職員が働いていますが、介護の仕事に就く人は、年齢にかかわらず明るくて、やさしい人が多いので職場の雰囲気はとてもいいですよ。力が必要な仕事については若い職員が率先して担ってくれますし、多世代の職員が、それぞれの強みを活かしながら、協力しあって入居者のみなさんを支えています。

●介護職として就職したいと考えている、シニア世代の人にメッセージをお願いします

介護の仕事は、シニア世代の豊富な人生経験、社会経験が生きる仕事です。自身が年を重ねているからこそ、80代、90代の高齢者の思いに寄り添い、その方の立場に立った介護ができると思います。ぜひ、チャレンジしてください。

元気なシニア世代の力を求めています

家族介護や介護職員としての経験をもつ百塚さんは、当施設にとって貴重な戦力であり、若い職員から「お母さん」として頼りにされています。4時間の勤務ですが、職員配置が薄くなる時間帯ですでお助けしています。介護の現場は、シニア世代の方の経験が活かせる仕事がたくさんありますし、体力に合わせた働き方も可能です。介護業界は、いま元気なシニア世代の力を必要としているのです。



株式会社四葉
サービス付き高齢者向け住宅 らるご桜木
事業本部 事務長 鈴木久雄さん

介護のお仕事に興味のあるシニアの方へ

千葉県社協では、介護のお仕事に興味のある50歳以上の方を対象に「期待しています!シニア人材事業」として、介護職員初任者研修の受講料補助、介護の職場体験、介護事業所へのマッチングを実施します。専門の担当者が介護職としての就労を支援しますので、詳しくは、千葉県福祉人材センターまでお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

FUKUSHI-JOB SEARCH
福祉のお仕事

福祉のお仕事

検索

<http://www.nw.fukushi-work.jp/>



千葉県福祉人材センター TEL.043-222-1294

